



創刊号

#1

4月
2026

安曇野市教育委員会だより ふるさと安曇野

基本理念 ◇ すべての人が生涯を通じて学び合い、文化・芸術のかおり高い安曇野を目指します。

◇ からだを動かし、頭で考え、心に感ずる“未来を拓くたくましい安曇野の子ども”を育みます。

「安曇野市教育委員会だより」の発行にあたって

教育長 橋渡 勝也

常念岳に例年より早い雪形の常念坊がお出ましになり、安曇野は春本番を迎えています。この度、改めて安曇野市教育委員会・教育長を拝命いたしました。引き続きよろしくお願いいたします。


安曇野市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長及び4人の委員により組織しており、教育について大切なことを教育委員会の会議で決定します。教育委員は、遠藤正志教育長職務代理者、羽田野賢二委員、川北久美委員、金子孝委員です。

事務局は市役所本庁舎に、学校教育課、学校給食課、生涯学習課、文化課、子ども家庭支援課、こども園幼稚園課の6課があり、教育長がその統括責任者を務めます。

さて、これまで市民の方から、「教育委員会の仕事を教えてください」、「コミュニティスクールに参加できますか」、「部活動の地域展開はどこまで進んでいますか」、などのお問い合わせやご要望をいただくことがありました。令和8年度は、このような声におこたえするため、情報の発信と丁寧な行政説明に重点を置いていきたいと考えています。そこで新たに「安曇野市教育委員会だより」を発行することにいたしました。毎月、安曇野市の教育行政の状況や成果、課題等をわかりやすくお伝えし、皆さまと一緒に安曇野市の教育や文化をさらによりよいものに前進させていこうと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

教育委員会だよりの名称を「ふるさと安曇野」としました。ここで育つ子どもたちが、安曇野市の自然や文化、人々の温かさを心に刻みながら成長して欲しい。また、すべての市民が文化のかおり高い安曇野でゆたかに暮らし、ここ安曇野に愛着と誇りをもっていただけるようにしたい、という願いを込めました。

(主な議案)


- ・令和8年度の「教育の方針」について(承認)  [詳細はこちら](#)
- ・会計年度任用職員の処遇改善などについて(承認)
- ・教員の業務量を合理化するための計画について(承認)
- ・「生涯学習リーダーバンク」を見直し「生涯学習人財バンク」とすることについて
- ・「博物館協議会」「文化財保護審議会」の委員、「美術資料等選定委員」の委嘱等について(承認)
- ・安曇野市議会令和7年12月議会の一般質問等について(了承)
- ・「フリースクール利用児童生徒支援補助金」を開始することについて(了承)
- ・地区公民館のLED化やエアコン設置工事に関する補助金の開始について(了承)

次回定例会の予定 日時:4月27日(月)午後1時30分～ 場所:市役所本庁舎3階会議室301 申込みなく傍聴できます。

お
願
い

大人が子どもを交通事故から守るために 子どももルールやマナーを正しく知って事故に遭わないように

新学期が始まり、子どもたちも新しい環境の中での生活がスタートしました。とりわけ、登下校については、小学1年生は初めての自力徒歩通学、中学生も自転車通学をする生徒が何人もいます。市では道路環境の改善に努めるとともに、学校でも、子どもたちがルールやマナーを理解してもらえるようにこれからも指導を繰り返し行っていきます。ご家庭でも折にふれてお話しください。ドライバーの皆さんには、特に歩行者、自転車を意識して、ウインカーを確実に出す、横断歩道では横断者がいないか注意をし、確実に止まるなど余裕をもった安全運転の徹底をお願いします。

 学校教育課から学校へ随時、交通安全に関する情報提供や注意喚起を行っています。(以下は4月16日付け発出した内容の抜粋)

・信号機のない横断歩道を自転車に乗りながら渡った際、走行してきた車と接触する事故がありました。

→自転車は法律上では車両。横断歩道上で自転車に乗ったままだと車両の扱いです。

自転車を使う際、横断歩道では歩行者として保護される「自転車を降りて押して渡る」ことが安全上重要です。また、横断する際には手を挙げるだけでなく、自動車が確実に止まるまで待つことや車がどう動くか注視するようご指導ください。



子育て支援

「こども誰でも通園制度」 4/1からスタート

- こども誰でも通園制度は、就労要件を問わず園に通っていない0歳6か月～満3歳未満のお子様が月10時間まで保育所等を利用できる制度です。
- 安曇野市では4月1日から、南穂高認定こども園で「こども誰でも通園制度」がスタートしました。👉 詳細はこちら
- 三郷北西部にある黒沢洞合自然公園拡張工事が竣工しました。広さは約20,000㎡で、いろいろな動植物と出会う自然公園です。今後オープニングイベントを行う予定です。お気軽にお出かけください。

社会教育

文化・芸術を身近なものに

- 日展安曇野展 5月2日(土)～5月31日(日)
安曇野市美術館で、国内最大級の総合美術展が開催されます。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5部門の入選作品が展示されます。会期中には中学2年生が鑑賞する機会を設けています。
- 安曇野アーティスト・イン・レジデンスの今年8年度の参加作家が決定しました。いずれも東京藝術大学で学んだ若手芸術家で、分野は彫金、陶芸、漆芸です。滞在中には児童生徒と交流して制作します。
アーティスト・イン・レジデンス(AIR)とは・・・
芸術家が一定期間、市民と交流しながら滞在し、創作活動やリサーチを行うプログラムです。

注目のとりぐみ

学校教育

部活動地域展開に向けて 安曇野市の考え方

国は、令和4年度に公立中学校の部活動を学校外の地域へ移行する方向性を打ち出しました。

安曇野市においては、大会等に出場する最低人数が確保できない中学校も出てきています。このような中で、中学生がスポーツや文化的活動等に興味を持ち特技をいかした活動に参加するとともに、異年齢の仲間や大人との交流により社会性を育む環境を確保していきたいと考えています。中学校部活動の地域クラブ等への移行と展開を地域の皆さんとともにさらに推進していきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

今後の状況については、随時お知らせする予定です。

中学校の部活動がこう変わります。👉 詳細はこちら

学校のヒマラヤスギがなくなっちゃった!

3月末、1人の市民の方が飛び込んで来られた。お話を聞くと小学校の校舎北側の樹木が伐採されたことを残念に思っ、気持ちを聞いて欲しいとのこと。この方は、学校の近くで小規模保育所を運営されていて、お散歩コースにあったヒマラヤスギの大木は、子どもたちの大のお気に入りだったそうだ。安全確保など事情をお話すると理解していただき、今後は大きな切り株の上でお弁当を食べようと考えているとのこと。学校に電話すると教頭先生から「もちろん大歓迎です!」との返事。これからも学校がさまざまな皆さんに愛され親しまれる存在であることを願っています。
(ka)

感想やご意見などをお寄せください。

連絡先:安曇野市教育委員会 教育部 学校教育課 教育総務係
Mail:gakkoukyouiku@city.azumino.nagano.jp

